

進路ニュース 第5号

東京都立広尾高等学校 進路指導部

令和2年 5月 8日 発行



この1か月を大切に！ ～ピンチをチャンスに変えましょう～

ゴールデンウィークが終わり学校再開…かと思いきや、5月末までの休校延長。この状況に多くの方がとても動揺しているかもしれません。しかし、皆さんは、このピンチを是非チャンスに変えてください。例年であれば、部活動や中間考査、体育祭など、それぞれが様々な行事や活動と勉強の両立を求められる時期ですが、今年は全員が外出自粛＝全員が同じ状況下にいます。全員に等しく与えられているこの時間を、どのように使うかは皆さん次第です。

今回は、前回に引き続き「進路のてびき」から、大学推薦、AO、専門学校、予備校、その他に書かれている「先輩からのアドバイス」を掲載します。

[亜細亜] AOで入れるということは全く考えず、一般試験に向けての勉強をしました。5月頃から、塾に通い、2科目受験だったので、英語と国語(現文)を勉強しました。英語は苦手だったので、ビジョンクエストを最初からノートにまとめて、ひたすら問題を解くことで一気に学力を上げました。

[国学院] 遅かったので春休みから。でも模試の結果は4月6月では上がらず7月で初めて結果がでた。中間期末はとにかく勉強した。

[成蹊] 春休みから英単語(シス単の1200と多義語)をやって1学期期末が終わってから、基礎固め。11月上旬からセンター系をかじり始めて、どこができないかを見つけてその分野をやりなおす。

[青山学院] 受験を意識した勉強は1年生の秋ぐらいから。英語は得意科目だったため、1年生の時から特に力を入れて勉強していた。やはり、自分の得意科目を早いうちから見つけて“誰にも負けない”ぐらいの学力をつけようという意識を持ち続けるのはよいと思う。

[東京理科] 高1・2年生ですべての範囲をとりあえず終わらせたことがとても大きかったと思う。総括しても、早い段階から基礎学力を身に着けることが大切であると思う。(1番ここが重要で時間をかけたいので)あとは、アウトプットを意識的に行い、その結果をもとに対策を考える。

[立教] 英単語は2年3学期から始める。長文を読みまくる(英語)。文の構造をとれるようする。

[武蔵] 1年生から3年生のテストは全て本気で取り組むこと。3年間頑張ることが推薦でも一般でも最も力になるし、役に立つと思う。また、どんな入試形態で受けるとしても、成績はとっておくべきだと思うから。

[国際動物 自然環境動物飼育] 高2から学校見学した。最終的に志望した学校には5回以上見学した。パンフレットは10校くらい見て、その中から3校に絞ってきめた。面接練習は、母に協力してもらった。動物飼育や自然環境に関する本をたくさん読んでおく。

[予備校・その他] 1、2年のときから勉強は嫌でもせめて英語の単語と文法はある程度やっておくべき。時間がある1、2年のときのうちにある程度大学を決めておく

[予備校・その他] 夏休みからやったが遅かった。社会科科目をもっと力入れるべきだと思う。

河合塾の全統模試について

5/8(金)、河合塾の全統模試の問題冊子等一式を申込者宛てにレターパックで送付しました。到着したらすぐ中身を確認し、何かあれば同封の「自宅受験の注意」に書かれたそれぞれの連絡先へ電話をしてください。

また答案の送付は到着期日(5/15)に間に合うよう、余裕を持って行ってください。到着が遅れた場合、その後の成績処理等に大きく影響します。くれぐれも注意してください。

今後も、様々な情報を発信していく予定です。Classiおよび学校HPを常に確認してください!